

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

第46回定期総会議案書

日時：令和元年6月8日(土) 13:00～

場所：天童ホテル 会議室



一般社団法人

山形県臨床検査技師会

2019

一般社団法人山形県臨床検査技師会

第 46 回定期総会

日 時：令和元年 6 月 8 日（土）13：00～

場 所：天童ホテル 会議室

受付開始 13：00

定期総会 13：30

顕彰式典 14：45

特別講演 15：00

「一隅を照らすは国の宝なり」

宝珠山 立石寺 清原 正田 住職

総会次第

1. 司会者挨拶
2. 開会挨拶
3. 議長選出
4. 議長挨拶
5. 総会役員任命
6. 会長挨拶
7. 資格審査
8. 議 事

承認事項

- | | |
|--------|------------------|
| 認第 1 号 | 平成 30 年度事業報告 |
| 認第 2 号 | 平成 30 年度会計決算報告 |
| 認第 3 号 | 平成 30 年度特別会計決算報告 |
| 認第 4 号 | 平成 30 年度監査報告 |

議 事

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会事業計画（案） |
| 第 2 号議案 | 令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案） |
| 第 3 号議案 | 令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案） |
| 第 4 号議案 | 令和元・2 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員推薦委員改選（案） |
| 第 5 号議案 | その他 |

9. 議長解任
10. 閉会挨拶

顕彰式典

令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会表彰

功劳賞

| | |
|--------|----------------|
| 村山 恵智子 | (山形県新庄病院) |
| 井上 恵美 | (山形県立河北病院) |
| 白田 亨 | (山形大学医学部附属病院) |
| 奈良崎 正俊 | (山形大学医学部附属病院) |
| 菅井 紀行 | (山形県成人病検査センター) |
| 軽部 由美 | (山形県成人病検査センター) |
| 斎藤 敬也 | (至誠堂総合病院) |
| 伊藤 啓明 | (日本海総合病院) |
| 高橋 朋紀 | (日本海総合病院) |
| 五十嵐 伸 | (日本海総合病院) |
| 佐藤 涼子 | (米沢市立病院) |
| 長岡 さとみ | (白鷹町立病院) |
| 加藤 千春 | (米沢市立病院) |

奨励賞

| | |
|--------|------------|
| 郷右近 秀平 | (山形県立中央病院) |
|--------|------------|

永年職務精励者表彰

| | |
|--------|----------------------|
| 高橋 真理子 | (山形県立河北病院) |
| 斎藤 敏 | (庄内最上地区) |
| 本間 隆宏 | (やまがた健康推進機構庄内健診センター) |
| 齋藤 郁子 | (山形済生病院) |
| 諏訪 里美 | (庄内最上地区) |
| 石井 陽子 | (村山地区) |

平成30年度一般経過報告

臨床検査業界における平成30年度の大きな事項は、医療法・臨床検査技師等に関する法律の一部改正が12月1日に施行されたことです。医療機関等の中で検体検査を行う場合の施設の構造設備等並びに精度の確保の方法等に関する基準の創設、衛生検査所等において行われる検体検査の精度の確保に関する基準の明確化の措置の他、検体検査を包括規定しています。

山形県臨床検査技師会（以下、山臨技）は、当会の根幹である学術事業（9部門7分野）を中心に活動し、平成30年度からは、休眠となっていた染色体・遺伝子部門研修会をはじめ各部門研修会、第39回山形医学検査学会や学術部主催研修会、精度管理事業などを開催しました。第39回山形医学検査学会は31の演題数となり、会員の学術に関する意識の高さが窺えました。また、山臨技精度管理事業は、会員施設69およびメーカーから多くの参加がありました。

公益事業は、「全国検査と健康展」および山臨技として第21回臨床検査展を行いました。企画部主催の研修会は、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会（平成31年1月19-20日）、認知症早期発見のため「第2回認知症対応力向上講習会B」（平成30年8月18-19日）を開催いたしました。認知症は2025年には700万人と予想され、認知症対策は国の喫緊の課題となっています。

また、臨床検査総合部門とともに「次世代を担うリーダーのスキル向上」をテーマにリーダー育成研修会（平成30年8月26日：むつみ荘）を開催しました。グループディスカッションでは各世代の意見交換が活発になされました。

日臨技主催災害派遣技師研修会は、公立置賜総合病院の岸氏に参加を要請いたしました。厚労省指定講習会検体採取に係る講習会は、山形県の受講者は6割となっています。

臨床検査技師の人材確保を目的に高校生進路支援ガイダンス（平成30年12月15日）を開催しました。参加した高校生は約70名と昨年より多く、臨床検査技師の仕事内容や若手技師からの体験談、そして検査室での実地体験行いました。

平成30年度秋の叙勲では、鈴木寛治氏（元置賜総合病院）が受章されました。鈴木氏は山臨技理事、副会長を永年歴任され、技師会活動に貢献されました。平成30年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰は、國井アツ子氏（山形市立病院済生館）、鈴木一志氏（元山形大学医学部）が受賞致しました。第39回山形県医学検査学会における学会学術賞は奥山真紀氏（鶴岡協立病院）、若人奨励賞は武田麻美氏（日本海総合病院）です。

「臨床検査の質の向上」及び「法改正」の実現を図り、国民の医療、福祉に寄与することを目的とした日本臨床検査技師連盟への加入者は4,096口で、山形県の加入者は44名（山臨技会員の7%）です。

山臨技各部・各委員会の事業報告は後掲しており、確認、承諾をお願いいたします。

庶務部

1. 定期総会

1) 第45回定期総会開催

平成30年6月9日(土) かんぼの宿 酒田

講演

「検査室からのチーム医療参画と臨床支援」

(LIS・診断新システムを利用した支援のご紹介)

講師：アボットジャパン株式会社

テクニカルスペシャリスト 嶋崎 徹 氏

「検査の精度に関する法改正の話題」

講師：アボットジャパン株式会社

セールステクニカルソリューション部 部長 井地 聰一 氏

2. 理事会の開催

理事会については、以下のごとく10回開催した。内容は山臨技HP「理事会議事録」を参照。

三役会議については、第1回理事会に併せて1回開催した。

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 1) 第1回理事会 | 平成30年4月11日(水) 山臨技事務所 |
| 2) 第2回理事会 | 平成30年5月11日(金) 山臨技事務所 |
| 3) 第3回理事会 | 平成30年6月9日(土) かんぼの宿酒田 会議室 |
| 4) 第4回理事会 | 平成30年7月13日(金) 湯田川温泉つかさや旅館 会議室 |
| 5) 第5回理事会 | 平成30年8月21日(火) あこや会館 会議室 |
| 6) 第6回理事会 | 平成30年9月19日(水) 山臨技事務所 |
| 7) 第7回理事会 | 平成30年10月14日(日) 温海ふれあいセンター 会議室 |
| 8) 第8回理事会 | 平成30年11月14日(火) 山臨技事務所 |
| 9) 第9回理事会 | 平成31年2月1日(金) 湯野浜温泉「うしお荘」会議室 |
| 10) 第10回理事会 | 平成31年3月23日(土) あこや会館 会議室 |

3. 日臨技(北日本支部含)、東臨技、日臨技連盟関連会議、山形県関係会議

1) 平成29年度日臨技総会

平成30年6月23日(土) 東京都

居鶴会長、齋藤庶務部長出席

2) 平成30年度第1回北日本支部幹事会

平成30年7月6日(金) 郡山市

居鶴会長出席

3) 平成30年度北日本支部内連絡会議

平成30年11月9日(金) 青森市

居鶴会長、阿部臨床血液部門長出席

- 4) 日臨技情勢報告会及び賀詞交換会 東京都
平成 31 年 1 月 25 日 (金)
居鶴会長、齋藤庶務部長出席
- 5) 日本臨床検査技師連盟会議 東京都
平成 31 年 1 月 25 日 (金)
齋藤庶務部長出席
- 6) 平成 30 年度日臨技全国幹事会
平成 31 年 1 月 26 日 (土) 東京都
居鶴会長出席
- 7) 平成 30 年度第 2 回北日本支部幹事会
平成 31 年 2 月 22 日 (金) 山形市
居鶴会長、奈良崎副会長出席
- 8) 平成 30 年度東臨技代表者会議
平成 31 年 3 月 29 日 (金) 青森市
加藤副会長出席

山形県関係会議

- 1) 山形県腎等臓器移植推進機構植評議員会議
平成 30 年 6 月 14 日 (木) 山形市
居鶴会長出席
- 2) 山形県精度管理専門委員会
平成 30 年 11 月 12 日 (月) 山形市
居鶴会長、阿部周一専門委員出席
登録衛生検査所立入検査
平成 30 年 11 月 30 日 (金) 居鶴、阿部
平成 30 年 12 月 7 日 (金) 居鶴、阿部
平成 31 年 2 月 15 日 (金) 居鶴、阿部
- 3) 山形県生活習慣病検診等管理指導協議会
肺がん部会会議 平成 31 年 2 月 4 日 笈田耕一病理細胞部門長出席
子宮がん部会会議 平成 30 年 3 月 1 日 渡邊いづみ理事出席
消化器(胃がん・大腸がん)部会会議
平成 30 年 3 月 8 日 佐藤美由紀臨床一般部門長委任

4. 表彰

- 1) 第 45 回山臨技定期総会 (酒田市) にて表彰
功労賞
古里 由美子 (山形市立病院済生館)
國井 アツ子 (山形市立病院済生館)
長沼 貞弘 (山形県立新庄病院)

諏訪 晋一 (鶴岡市立荘内病院)
邊見 庸一 (庄内保健所)
大内 尚子 (庄内最上地区)
鈴木 京子 (公立置賜総合病院)
石山 和敏 (やまがた健康推進機構 米沢検診センター)

奨励賞

鈴木 裕 (山形県立中央病院)
結城 智嗣 (篠田総合病院)
菅原 永里奈 (鶴岡市立荘内病院)
木村 俊平 (公立置賜総合病院)
高橋 由紀 (三友堂病院)

永年職務精励者表彰

安達 和子 (山形市立病院済生館)
松岡 敦子 (篠田総合病院)
黒瀬 里知子 (篠田総合病院)
大津 淳子 (山形市医師会健診センター)
須藤 祐一 (やまがた健康推進機構 山形検診センター)
清和 敏 (鶴岡協立病院)
菅原 等 (やまがた健康推進機構 庄内検診センター)
佐藤 久美 (本間病院)
斎藤 恒子 (本間病院)
斎藤 裕美 (酒田市立八幡病院)
本間 尚子 (日本海総合病院)
芳賀 寛和 (公立置賜総合病院)
児玉 さだ子 (公立置賜総合病院)
大峽 雅男 (三友堂病院)
白田 淳 (米沢市立病院)

5. 山臨技ニュースの発行

平成 30 年 12 月 瑞宝双光章受章、県知事表彰について
平成 31 年 2 月 会員手続きについて

6. 技師会事務所取得委員会の開催

理事会等にあわせて委員を招集し、情報の収集と検討を行った。

会 計 部

1. 法人会計として、複式簿記による帳簿整理を行った。
2. 研修会及び会議の参加旅費、各事業への活動費等を予算どおりに執行した。
3. 講師料等、報酬の源泉徴収税について、納付事務を行った。

学 術 部

1. 第39回山形県医学検査学会

【詳 細】

日 時 平成30年10月13日～14日

場 所 鶴岡市 温海ふれあいセンター

テーマ 『飛躍 未来に向けての挑戦』

内 容 特別講演「認知症医療の現在地」

講師 日本海総合病院 精神科 澁谷 譲 先生

教育講演「当院における妊産婦救急対応への取り組み」

講師 山形大学医学部附属病院 渡邊 憲和 先生

一般演題 31題

ランチョンセミナー 10題

企業展示 10社

○学会学術賞

演題「2型糖尿病患者における左室機能障害の有病率と SGLT2 阻害薬の有効性の検討」

鶴岡協立病院 奥山 真紀 技師

○若人奨励賞

演題「寒天ゲルシートを用いた組織標本作製について」

日本海総合病院 武田 麻美 技師

県学会総括会議開催

日 時 平成31年2月1日（金）

場 所 うしお荘 会議室

内 容 役員アンケート集計報告、参加状況、中間決算報告、問題点の整理など

2. 部門長・分野長合同会議及び第39回山形県医学検査学会企画部会議

日 時 平成30年4月28日（土）

場 所 赤湯温泉 「むつみ荘」

協議議題 平成30年度学術部活動計画について

平成30年度部門別活動予算配分について

活動費の管理・会計について

研修会の持ち方について

精度管理事業について
公益事業協力について
生涯教育研修制度について
ホームページ委員会より
学術部運営規定・学会マニュアルの変更について
染色体・遺伝子部門の今後の活動について
第39回山形医学検査学会に向けて

3. 学術部会議

理事会終了後やメールにて情報を共有し連携を図った。

4. 部門別検査分野事業報告

今年度より、染色体・遺伝子部門を新たに立ち上げ、9部門で活動を展開した。各部門とも部門長・分野長を中心に積極的かつ思考を凝らした研修会を開催した。全研修会参加人数は、のべ333名であった。各部門の研修会詳細は後掲載につき参照していただきたい。

5. 学術部主催研修会の開催

【詳細】

日時 平成31年2月9日（土）

会場 天童温泉 天童ホテル

研修会テーマ 『検体検査の精度管理を学ぼう』

内容

講演：「これから取り入れていきたい内部精度管理を学ぼう」

1) 「輸血検査の内部精度管理」

日本海総合病院 門脇 未奈 技師

2) 「ネットで『細菌 内部精度管理』と検索する方へ。紹介します、当院の方法」

日本海総合病院 田賀 佐和子 技師

3) 「病院病理の内部精度管理、やっていること、やりたいこと」

鶴岡市立荘内病院 鈴木 俊市 技師

4) 「生化学・免疫の内部精度管理」

山形大学医学部附属病院 佐藤 直仁 技師

山形大学医学部附属病院 佐藤 大亮 技師

講演：「医療法改正で精度管理が変わる！？基礎から学ぶ内部精度管理」

バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株) 診断薬マーケティング部 植村 康浩 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 43名

受講者 賛助会員 3名

講師 6名

実務委員

12名

6. その他

メーカー・他団体主催で技師会共催または後援の研修会を開催した。(詳細は後掲載の部門別検査分野事業報告を参照)

企画部

1. 認知症対応力講習会 B

日時：平成30年8月18(土) 19(日)

会場：山形大学医学部附属病院

受講者：17名

実務委員：10名

(内容)

・本事業の意義と目的

・日本臨床衛生検査技師会 執行理事 深澤 恵治 先生

ビデオ講演

・神経心理学的検査総論

～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝 先生

ビデオ講演MMS E・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉 先生

・MMS E・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査の実習

担当 富樫 直美 技師

ビデオ講演

・ADAS 検査総論

鳥取大学医学部附属病院神経内科

鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士 浜田 実央先生

・ADAS 検査の実習 担当 富樫 直美 技師

ビデオ講演

・TDA S 検査総論

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座助教 河月 稔先生

・TDA S 検査の実習

進行 山形県立こころの医療センター 富樫 直美 技師

ビデオ講演

・その他の簡易スクリーニング検査総論

～道路交通法改正もふまえて～講義途中に体験実習あり

担当 富樫 直美 技師 NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司先生

認知症対応力講習会 B は今年度で終了になります。

2.山臨技臨床検査展

日時：10月6日（土）

会場：米沢市立体育館米沢市生涯学習フェスティバルに参加

実務委員：20名

内容：パネル展示、日臨技の資料配布、超音波の骨密度測定、認知症のものわすれ相談プログラム、グリターバッグを使用した手洗い体験、顕微鏡標本の展示など。参加した実務委員からは楽しかったとの声も聞かれました。

3.全国検査と検査展

日時：11月4日（日）

会場：イオンモール天童

実務委員：21名

内容：パネル展示、日臨技の資料配布、骨密度測定、認知症のものわすれ相談プログラムの実施、グリターバッグを使用した手洗い体験、顕微鏡標本の展示、呼気中一酸化炭素濃度の測定、臨床検査技師の仕事を紹介するDVDの放映など。

会場が広くパネルは全て展示でき、用意したパンフレットは全て配ることができました。認知症のものわすれ相談プログラムは多くの市民の方から体験していただき、臨床検査技師が認知症の検査を実施していることをアピールできました。臨床検査技師の仕事を紹介するDVDを見ていた高校生は12月に開催する学生ガイダンスにはぜひ参加したいとの声もありました。

4.医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会（多職種）

日時：平成31年1月19日（土）20日（日）

会場：山形市立病院済生館

受講者：17名

実務委員：7名

(内容)

①臨床検査技師が多職種を知る意義（ビデオ講演）

日臨技 宮島 喜文 会長

②臨床検査技師が多職種を知る意義

企画担当者 山形県立河北病院 植木 哲也 技師

③他職種連携のためのコミュニケーション術（実技を含む）

アボットジャパン(株) コマーシャルトレーニング部講師

④知っておくべき患者輸送技術・急変時の初期対応（実技を含む）

山形市立病院済生館 救急看護認定看護師 木村 典子 氏

⑤知っておくべきベッドサイドの危機管理

山形市立病院済生館 中央診療部 MEセンター医療機器管理係
主任臨床工学士（兼）安全管理者 杉山 道明 氏

⑥知っておくべきベッドサイドの危機管理（実技）

山形市立病院済生館 中央診療部 MEセンター医療機器管理係
主任臨床工学士（兼）安全管理者 杉山 道明 氏
臨床工学士 橋本 貴礼 氏

⑦知っておくべき薬理

山形市立病院済生館 副薬局長 西村 孝一郎 氏

今後の医療の現場では、臨床検査技師も他の職種と連携することが必須とされます。多くの方から受講していただき感謝いたします。

今後とも、公益事業を支えてこられた諸先輩方の意思を継ぎ、絶えることなく開催していきますので各地区の地区役員、会員の方々のご協力のご理解をよろしくお願い致します。また、臨床検査技師の世界を多くの方々に広めていきたいと思っております。新しい企画がありましたら教えていただくと幸いです。今年度、多くの方々のご協力をいただいた事に感謝申し上げますとともに、来年度もよろしくお願い致します。

「山形医学検査」編集委員会

1. 「山形医学検査」の発行

- 1) VOL.27 No.2 平成30年8月30日発行（会員名簿との合冊として）
- 2) VOL.27 No.3 平成30年9月28日発行（第39回山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書との合冊として）
- 3) VOL.28 No.1 平成31年2月28日発行

2. 編集委員会の開催

平成30年度第1回編集委員会

日時：平成30年7月20日 18時30分～

場所：山形市医師会健診センター 1階 打合せ室

内容：VOL.27 No.2の編集作業、企画

3. その他

- 1) 国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行った。
- 2) 投稿規定の変更

平成30年度第4回山臨技理事会の承認を得て、山形医学検査投稿規定を変更した。変更内容は投稿者の資格において「入会資格を有しない共同発表者については、理事会で定めた原稿料を申し受ける」とあったが、近年の投稿がなかったため「理事会で決める」とし、平成30年7月14日より施行とした。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事のJAMTISへの行事登録並びに参加者登録を行った。

- 1) 行事登録：合計31件（基礎教科：5件、専門教科：25件 県学会：1件）

- 2) 参加者登録：合計 1,280 名（基礎教科：168 名、専門教科：934 名 県学会：178 名）
 - 3) 自己申告による参加登録件数：10 件
2. 日臨技推進研修会の申告並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行った。
申告：12 件

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

昨年度も有意義なコントロール・サーベイが実施できた。サーベイ実施項目に増減はなかった。従来項目に加え病理検査、細胞検査が新たに回答、入力、解析、評価、施設別報告書の開示を JAMTQC で行った。精度管理報告書を県学会抄録号と合併号として発刊した。精度管理報告会では例年並みの参加を得ることができ盛況のうちに終了することができた。また、12 月からの医療法・臨床検査技師等に関する法律の一部改正に伴い、会員の精度管理に対する意識高揚を感じた一年であった。主な事業は以下の通りである。

| | |
|------------------|--|
| 平成 30 年 4 月 27 日 | コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り |
| 7 月 8 日 | コントロール・サーベイ試料発送作業 フォトサーベイ CD 発送作業 サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間 7 月 9 日から 7 月 20 日) |
| 7 月 20 日～10 月初旬 | サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む) 精度管理報告書作成 (県学会抄録号と合作) |
| 10 月 25 日 | コントロール・サーベイ施設別報告書 (総括・統計) JAMTQC 上で開示 |
| 11 月 20 日 | 第 1 回精度管理委員会開催 (おもに精度管理報告会について) |
| 12 月 9 日 | 精度管理報告会開催 於：山形県立中央病院講堂 (146 名参加) |
| 平成 31 年 3 月 4 日 | 2019 年度 JAMTQC 使用申請一日臨技受理・登録完了 |
| 3 月 26 日 | 2019 年度コントロール・サーベイ参加申し込み発送 |

2. データ標準化事業

2019 年 3 月 26 日 共用基準範囲に関するアンケートを実施した。

ホームページ委員会

- 1. 技師会主催研修会・イベント、各種団体研修会の情報提供を行った。
- 2. 各地区施設の採用情報提供を行った。
- 3. ブログを活用した情報提供を行った。

平成30年度学術部部門別検査分野活動報告

生 物 化 学 分 析 部 門

部門長(兼)臨床化学分析分野長

佐 藤 大 亮

免疫検査分野長

佐 藤 直 仁

1. 生物化学分析部門研修会 (学術部研修会と合同開催)

日 時 : 平成 31 年 2 月 9 日 (土)

会 場 : 天童温泉 天童ホテル

テーマ : 『検体検査の精度管理を学ぼう』

内 容 : メーカー講演

『医療法改正で精度管理が変わる！？基礎から学ぶ内部精度管理』

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 診断薬マーケティング部 植村 康浩 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 合同開催の学術部研修会の参加者に記載

受講者 賛助会員 合同開催の学術部研修会の参加者に記載

受講者 その他 合同開催の学術部研修会の参加者に記載

講師 1 名

実務委員 5 名

2. 山臨技臨床化学分析分野・免疫検査分野のコントロールサーベイ

臨床化学28項目について7月に実施した。参加施設は63施設で、回答率100%であった。集計並びに解析結果は、12月9日(日)の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

部門会議：平成31年2月9日(土) 天童温泉 天童ホテル

4. その他、技師会共催学術事業

アボットフェア2018 山形

日 時 : 平成30年10月6日(土)

場 所 : 山形国際ホテル

生物試料分析科学会 東北・北海道支部 第12回学術集会

日 時 : 平成30年12月8日(土)

場 所 : ヤマコーホール

臨 床 生 理 機 能 部 門

部門長(兼)神経生理分野長 情 野 文 恵
超音波分野長 富 田 和 利
循環・呼吸生理分野長 會 田 志 乃

1. 北日本支部生理機能検査部門研修会

日 時 : 平成 30 年 9 月 8 日 (土) ~ 9 月 9 日 (日)

会 場 : 山形テルサ アプローズ

研修会参加者

受講者 一般会員 1 0 1 名

講 師 6 名

実務委員 1 1 名

2. 山臨技サーベイの実施

循環・呼吸生理分野では心電図検査サーベイ、超音波分野では腹部・心臓・血管領域の超音波検査サーベイ、神経生理分野では神経伝導検査・脳波検査サーベイによる精度管理を行った。平成 30 年 12 月 9 日 (日) の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議 : 平成 30 年 5 月 26 日 (土) 山形済生病院 会議室

第一回分野長会議 : 平成 30 年 8 月 4 日 (土) 山形テルサ

4. その他、技師会共催学術事業

庄内乳腺エコー研修会

日 時 : 平成 30 年 4 月 14 日 (土)

場 所 : 日本海総合病院 講堂

第 5 5 回山形超音波検査研究会研修会

日 時 : 平成 30 年 7 月 22 日 (日)

場 所 : 山形テルサ 研修室 B

第 5 6 回山形超音波検査研究会研修会

日 時 : 平成 30 年 10 月 20 日 (土)

場 所 : 山形県立中央病院 講堂

山形静脈血栓塞栓症懇話会

日 時 : 平成 30 年 9 月 27 日 (木)

場 所 : 山形国際ホテル

第4回山形動脈硬化セミナー

日時：平成31年2月2日（土）

場所：山形グランドホテル

病 理 細 胞 部 門

| | |
|---------|------|
| 部門長 | 多木耕一 |
| 細胞検査分野長 | 鈴木俊市 |
| 病理検査分野長 | 阿部光展 |

1. 病理細胞部門研修会

日時：平成30年10月27日（土）～28日（日）

会場：天童ホテル

内容

10月27日（土）

第39回山形県医学検査学会演題レビュー

| | |
|--|------|
| 「EBER ISH の実施に向けた条件検討」 | 多田耕一 |
| 「ビクトリア青染色の検討」 | 阿部幸輝 |
| 「寒天ゲルシートを用いた組織標本作製について」 | 武田麻美 |
| 「当院における病理検体取扱い方法改善への取り組み」 | 古内麻理 |
| 「胸水セルブロックが診断に有用であった原発性滲出液リンパ腫様リンパ腫の1例」 | 鈴木裕 |
| 「子宮頸部細胞診で AGC と判定した 33 例の検討」 | 阿部光展 |

教育講演Ⅰ（60分）

「p16免疫染色の有用性について ～子宮頸癌・中咽頭癌を中心に～」

山形市立病院済生館 病理診断科 大竹浩也 医師

教育講演Ⅱ（60分）

山臨技 染色体・遺伝子部門 協賛企画

「がんゲノム医療の到来と病理検査部門の重要性」

国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 遺伝子検査室 柿島裕樹 技師

10月28日（日）

教育講演Ⅲ（60分）

「膵胆管細胞診について」

山形市立病院済生館 臨床検査室 居鶴一彦 技師

平成30年度山臨技病理細胞部門サーベイフォローアップ（各30分）

| | |
|---------|------|
| ・細胞検査分野 | 鈴木俊市 |
| ・病理検査分野 | 多田耕一 |

研修会参加者

| | |
|----------|-----|
| 受講者 一般会員 | 20名 |
| 受講者 その他 | 2名 |
| 講師 | 3名 |
| 実務委員 | 7名 |

2. 山臨技サーベイの実施

病理検査分野、細胞検査分野ともに JAMTQC を利用したフォトサーベイを行った。

平成30年12月9日（日）山臨技精度管理報告会、平成30年10月28日（日）病理細胞部門研修会にて、報告・講評がなされた。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議：平成30年10月27日（日）天童ホテル

4. その他、技師会共催学術事業

第8回東北病理技術研修会（東北病理技術研修会、宮城県臨床検査技師会との共催）

日 時：平成30年12月8日（土）

場 所：宮城県仙台市 ホテル白萩

（子宮の日）子宮頸がん検診啓発活動（日本臨床細胞学会山形県支部との共催）

日 時：平成30年4月14日（土）

場 所：イオンモール天童

日本臨床細胞学会山形県支部総会・学術集会（日本臨床細胞学会山形県支部との共催）

日 時：平成30年6月30日（土）

場 所：山形県立中央病院

成人病検診従事者（細胞診）講習会（日本臨床細胞学会山形県支部との共催）

日 時：平成30年6月30日（土）、平成30年11月10日（土）、平成31年1月12日（土）

場 所：山形テルサ、鶴岡市立荘内病院

臨 床 一 般 部 門

臨床一般部門長 佐 籾 美由紀

1. 一般部門研修会の開催

日 時：平成30年12月2日（日）

会 場：山形県立中央病院 2階講堂

内 容

会員発表

演題1 「当院における糸球体型赤血球報告の検討」 山形済生病院 鈴木 郁美 技師

演題2 「全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 による細菌グラム染色性情報の有用性」

山形市立病院済生館 井上 紗季 技師

講演

「認定一般検査技師試験を紐解く」

山形県立中央病院 田中あゆみ 技師

講演

「尿沈渣鑑別のコツ「はたらく細胞～血球編～」 ー分類、意義アリ？ナシ？ー」

済生会新潟第二病院 小野 篤史 技師

メーカー講演

「便潜血検査のトピックスと HM-JACK®システムのご紹介」

協和メデックス株式会社 CR推進部学術G 福田 剛 氏

「尿検査の最近の話題」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 渡辺 浩 氏

講演

「尿沈渣鑑別のコツ「働く細胞～上皮編～」 ー機能と形態、尿中に出現するワケー」

平内中央病院 坂牛 省二 技師

研修会参加者

| | | |
|------|------|-----|
| 受講者 | 一般会員 | 42名 |
| 受講者 | 賛助会員 | 3名 |
| 受講者 | その他 | 1名 |
| 講師 | | 5名 |
| 実務委員 | | 4名 |

2. サーベイの実施

尿沈渣成分フォトサーベイ、便潜血検査サーベイ及びアンケート調査を行った。12月9日（日）の精度管理報告会にて報告を行った。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議：平成30年12月1日（土）山形県立中央病院 2階講堂（研修会準備など）

4. その他、技師会共催学術事業

ファミリー病セミナーin 山形

日時：平成30年9月28日（金）

場所：山形医学交流会館

臨床血液部門

臨床血液部門長 阿部 まゆみ

1. 臨床血液部門研修会

1回目開催

日時 : 平成30年6月23日(土)

会場 : 山形大学医学部

テーマ : 明日から使える血液検査の知識を身につけよう

内容

講演1「認定血液検査技師を目指して」

鶴岡市立荘内病院

和嶋 和子技師

講演2「日臨技骨髓像研修会の伝達講習」 — 今から使える WHO2016 骨髓系腫瘍分類の変更点 —

山形市立病院済生館

阿部 まゆみ技師

講演3「血球計数装置のデータからわかること」

シスメックス株式会社 仙台支店 学術サポート課

阿部 安樹先生

講演4「フローサイトメトリー 解析と結果解釈」

LSI メディエンス分子病態解析センター遺伝子解析部

細胞性免疫グループ グループリーダー 齋藤 敬先生

講演5「検査技師に必要な直接経口抗凝固薬の情報と対策について」

アイ・エル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部

部長 阪田 敏幸先生

研修会参加者

| | | |
|------|------|-----|
| 受講者 | 一般会員 | 28名 |
| 受講者 | 賛助会員 | 7名 |
| 受講者 | その他 | 3名 |
| 講師 | | 5名 |
| 実務委員 | | 7名 |

2回目開催

日時 : 平成30年9月22日(土)

会場 : 山形大学医学部

テーマ : 骨髓検査の知識を身に付けよう

内容

講演1

今から使える「骨髓像の見方、考え方、所見の書き方①」

血球の分化・成熟、顆粒球系/赤芽球系の形態学的な特徴、塗抹標本の見方など

NTT 東日本関東病院 臨床検査部 後藤 文彦先生

鏡検実習 1～2症例「正常の骨髓細胞を中心に」

講演 2

今から使える「骨髓像の見方、考え方、所見の書き方②」－骨髓異形成症候群 MDS を中心に－
NTT 東日本関東病院 臨床検査部 後藤 文彦先生
鏡検実習 5 症例「MDS を中心に異形成の捉え方など」

研修会参加者

| | |
|----------|-----|
| 受講者 一般会員 | 22名 |
| 受講者 賛助会員 | 2名 |
| 受講者 その他 | 1名 |
| 講師 | 1名 |
| 実務委員 | 8名 |

2. 山臨技サーベイの実施

CBC（6項目）サーベイおよびフォトサーベイを7月に実施した。フォトサーベイは、評価対象10問を実施し出題した。12月に精度管理報告会にて報告を行い、その報告書を山形医学検査に投稿を行った。

3. 部門会議の開催

第一回：平成30年6月23日（土）

第二回：平成30年9月22日（土）

4. その他、技師会共催学術事業

第32回山形造血器疾患研究会

日時：平成30年7月21日（土）

場所：山形国際ホテル

臨床微生物部門

臨床微生物部門長 木村 東子

1. 北日本支部微生物部門研修会

日時：平成30年11月23日（金・祝）～24日（土）

会場：山形市立病院済生館

テーマ：「臨床微生物検査のスキルアップを目指して」

研修会参加者

| | |
|----------|-----|
| 受講者 一般会員 | 71名 |
| 受講者 賛助会員 | 17名 |
| 受講者 非会員 | 8名 |

講 師 5 名
実務委員 16 名

2. サーベイの実施

菌の同定検査1設問、同定と薬剤感受性試験1設問、フォトサーベイ4設問を実施した。
12月の報告会で報告を行った。

3. 部門会議の開催

第一回：平成30年5月18日（金）
第二回：平成30年5月19日（土）
第三回：平成30年7月8日（日）

4. その他、技師会共催学術事業

第6回感染症診断フォーラム ー東北ー

日 時：平成30年10月20日（土）
場 所：TKPガーデンシティ PREMIUM

第13回山形県抗菌薬療法研究会

日 時：平成30年11月9日（金）
場 所：メトロポリタン山形

輸 血 細 胞 治 療 部 門

輸血細胞治療部門長 大 森 洋 子

1. 日臨技北日本支部研修会 輸血伝達講習会の開催

日 時：平成30年11月17日（土）～18日（日）
会 場：山形大学医学部 CBT 講義室、第3実習室
テーマ：輸血検査の質を担保できる輸血検査技師の育成

研修会参加者

受講者 一般会員 50名
受講者 賛助会員 2名
実務委員 21名

2. サーベイの実施

検体Ⅰ（血球①、血漿②）ABO,RhD 血液型、不規則抗体検査、（血球⑤⑥⑦）交差適合試験
検体Ⅱ（血球③、血漿④）ABO,RhD 血液型、不規則抗体検査、（血球⑤⑥⑦）交差適合試験
試料（血漿ABC、血球D）凝集の強さ、抗体価測定

血液型Ⅲ（血球 11、血漿 12）ABO,RhD 血液型

血液型Ⅳ（血球 13、血漿 14）ABO,RhD 血液型

検体Ⅰ、Ⅱは、検体が提出された背景を設定し、設問に回答する方式。評価対象外の問題として凝集の強さ・抗体価測定・血液型検査を出題。12月の精度管理報告会にて報告を行った。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議：平成30年6月9日（土） かんぼの宿酒田

第一回北日本支部研修会企画会議：平成30年7月1日（日） 山形大学医学部附属病院

臨床検査総合部門

臨床検査総合部門長 江口由美

1. 平成30年度都道府県技師会リーダー育成研修会

日時：平成30年8月26日（日）

会場：赤湯温泉 むつみ荘

テーマ：次世代を担うリーダーのスキル向上

内容

『医療情勢、臨床検査技師を取り巻く状況の共有』

『日臨技事業・都道府県事業の連携と共感』

講師：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 代表理事副会長 横地 常広 先生

『臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの』

講師：一般社団法人 山形県臨床検査技師会 会長 居鶴 一彦 先生

『リーダー、中堅職員としてのマネジメントスキルの習得』

講師：山形県立中央病院 検査部・輸血部 臨床検査主幹（兼）技師長 阿部 周一 先生

『グループディスカッションと発表』

講師：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 理事

医療生協やまがた 鶴岡協立病院 齋藤 友成 先生

- ・これからの山臨技に求めること
- ・やりたい活動
- ・聞きたい研修会
- ・活動しやすくする各職場の工夫 など

研修会参加者

| | |
|----------|-----|
| 受講者 一般会員 | 17名 |
| 講師 | 4名 |
| 実務委員 | 7名 |

2. 部門会議開催

その都度メール、TELにて連絡及びリーダー育成研修会時に総合部門班として開催。

染 色 体 ・ 遺 伝 子 部 門

染色体遺伝子部門長 鈴木 裕

1. 平成 30 年度遺伝子・染色体部門研修会

日 時 : 平成 31 年 1 月 26 日 (土)

会 場 : 山形県立中央病院講堂

内 容

報提供「なぜ今 染色体・遺伝子部門なのかー遺伝子関連検査・染色体検査の概要と注意点ー」

山形県立中央病院 検査部 鈴木 裕

教育講演 I 「微生物分野における遺伝子検査の実際」

バイオメリュー・ジャパン株式会社 奥村 元 先生

教育講演 II 「造血器腫瘍における遺伝子関連検査について (仮題)」

株式会社 LSI メディエンス メディカルソリューション本部分子病態解析センター

松田 耕一郎 先生

特別講演「日常診療で行われる遺伝子検査と検体の取り扱いについて

ー特にがん治療におけるコンパニオン診断を中心にー」

山形県立中央病院 病理診断科 柳川 直樹 先生

研修会参加者

| | |
|----------|-----|
| 受講者 一般会員 | 41名 |
| 受講者 賛助会員 | 17名 |
| 受講者 その他 | 1名 |
| 講 師 | 4名 |
| 実務委員 | 7名 |

2. 部門会議開催

第一回部門会議：平成 31 年 1 月 26 日 (日)

平成 30 年度 三地区活動報告

村山地区

1. 地区役員会

- 1) 第 1 回役員会 平成 30 年 7 月 2 日 (火) 山形大学医学部附属病院
 - ・ 平成 30 年度 日臨技・山臨技行事予定と村山地区担当事業
 - ・ 学生ガイダンスについて
 - ・ 平成 30 年度村山地区事業計画 (地区主催研修会)
 - ・ 技師連盟加入について
- 2) 第 2 回役員会 平成 31 年 2 月 16 日 (土) 山形市立病院済生館
 - ・ 2019 年度 山臨技定期総会について
 - ・ 2019 年度 地区事業と研修会について
 - ・ 日臨技北日本支部医学検査学会 (第 8 回)

2. 地区研修会

1) 平成 30 年度 第 1 回村山地区主催研修会

日時：平成 31 年 2 月 16 日 (土) 14:00～17:00

会場：山形市立病院済生館 4 階中会議室

内容：

- ① 日本医学検査学会・北日本支部医学検査学会 学会発表レビュー
 - ・ 臨床検査部の内から外へ ―輸血部門編―
山形済生病院 八矢 幸大 技師
 - ・ 皮膚病変を伴わない芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例
山形市立病院済生館 古澤 絵美 技師
 - ・ 平均血小板成分濃度 (MPC) を用いた採血管凝固チェックの検討
篠田総合病院 結城 智嗣 技師
 - ・ 頸動脈超音波検査で経過観察した Carotidynia の 1 例
山形市立病院済生館 會田 志乃 技師
- ② 保健衛生関連功労者山形県知事表彰 講演
 - ・ 脳梗塞急性期の FMC・D ダイマー・BNP 測定の有用性
山形市立病院済生館 國井 アツ子 技師
 - ・ パラグアイでの技術協力を思い起こして
山形大学医学部 鈴木 一志 技師
- ③ 教育講演
「改正医療法に伴う検査室の準備とその運用を考える」
 - ― 機器・試薬・システムに求められる機能 ―
 - オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
クリニカルサイエンス事業部 バリューストリーム推進部
QMS 支援マネージャー 清 康一 先生

研修会後、保健衛生関連功労者山形県知事表彰 祝賀会・情報交換会 18:00～

3. 一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

1) 日臨技 全国「検査と健康展」

日時：平成30年11月4日（日） 開催 9:00～15:00、 役員 8:00～16:30

会場：天童市 イオンモール天童

実行委員：置賜保健所（山田敏弘）、北村山公立病院（武田譲）、山形済生病院（齋藤紀子）、山形県立中央病院（渡邊いづみ、佐藤瞳）、東北中央病院（鈴木智美、清野佳代、高梨恵実）、篠田総合病院（黒田博美）、山形市医師会健診センター（大津敦子）、山形市立病院済生館（居鶴一彦、大江雅宏、海谷瑠実、井上紗季、深瀬雅）、山形大学医学部附属病院（奈良崎正俊、平井一樹、田中麻生子、大塚那奈）、山形県立河北病院（植木哲也）、荘内地区健康管理センター（高橋勝也）※敬称略 21名

2) 進学支援学生ガイダンス

日時：平成30年12月15日（土） 開催 10:00～13:00、 役員 8:30～14:30

会場：山形市立病院済生館

対象：山形県内の高校生 18校 62名の参加

内容：

① オリエンテーション

② 臨床検査技師の仕事、臨床検査技師養成大学の紹介

- ・鶴岡市立荘内病院 柿崎翔平 技師
- ・山形市立病院済生館 深瀬 雅 技師
- ・山形大学医学部附属病院 旭岡翔太 技師

③ 臨床検査体験ツアー

- ・生理検査（心電図・頸動脈エコー、心エコー）
- ・輸血検査（血液製剤・血液型）
- ・一般・生化学検査（尿定性・生化学・免疫分析機）
- ・血液検査（血算・血液像・骨髄像）
- ・細菌検査（塗抹培養・培地コロニー観察・鏡検）
- ・病理検査（鏡検・組織標本観察）

④ アンケート

満足度：大満足 74%、満足 23%、

臨床検査技師になりたいか：なりたい 27%、興味がわいた 58%、検討中 15%

実行委員：鶴岡市立荘内病院（柿崎翔平）、北村山公立病院（武田譲）、山形済生病院（齋藤紀子）、山形県立中央病院（上野大）、山形県立河北病院（植木哲也）、東北中央病院（鈴木智美）、山形市立病院済生館（居鶴一彦、大江雅宏、國井アツ子、阿部まゆみ、木村東子、上野まきこ、石澤剛、河合みゆき、海谷瑠実、井上紗季、深瀬雅）、山形大学医学部附属病院（奈良崎正俊、柴田早紀、平井一樹、伊豆野良太、旭岡翔太）、置賜総合病院（木村俊平）、白鷹町立病院（加藤裕之） ※敬称略 24名

庄内・最上地区

1. 地区役員会

- 1) 第1回役員会 平成30年4月20日(金) 15:00～日本海総合病院 第3会議室
 - ・臨床検査連盟への加入について
 - ・平成30年度庄内最上地区事業計画について
 - ・第39回山形医学検査学会について
 - ・その他
- 2) 第2回役員会・地区第1回県学会実行委員会
平成30年6月13日(水) 15:00～温海ふれあいセンター
 - ・会場視察
 - ・第39回山形医学検査学会について
- 3) 地区3役会議 平成30年8月2日(木) 18:00～
- 4) 地区第2回県学会実行委員会
平成30年8月24日(金) 14:00～日本海総合病院 第1会議室
 - ・第39回山形医学検査学会について
- 5) 地区4役会議 平成30年9月27日(木) 18:00～
- 6) 地区第3回学会実行委員会 平成30年10月12日(金) 13:00～温海ふれあいセンター
 - ・第39回山形医学検査学会について
- 7) 第3回役員会 平成31年2月16日(土) 12:30～
 - ・平成30年度庄内最上地区研修会について
 - ・功労賞・奨励賞該当者について
 - ・その他

2. 一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

- 1) 第45回定期総会 平成30年6月9日(土) かんぼの宿酒田
- 2) 第39回山形県医学検査学会
平成30年10月13日(土)～14日(日) 温海ふれあいセンター
情報交換会たちばなや

3. 地区研修会

- 1) 平成30年度庄内最上地区研修会 日時：平成31年2月16日(土) 14:00～
 - ・第39回 山形県医学検査学会『若人奨励賞』受賞演題の発表
「寒天ゲルシートを用いた組織標本作製について」
日本海総合病院 武田麻美 氏
 - ・【ISO15189 認定】～何をかえるか～
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 石原典明 氏
 - ・地域連携推進法人検体集約化に対応した検査室の構築まで
日本海総合病院 諸橋八千雄 技師
 - ・日本海総合病院検査部の見学

置賜地区

1. 地区役員会

- 1) 第1回置賜地区役員会 平成30年5月19日(土) 赤湯温泉 むつみ荘・会議室
 - ・平成30年度 置賜地区春期研修会について
 - ・第45回 山臨技定期総会について
 - ・山臨技検査展について
 - ・その他
- 2) 第2回置賜地区役員会 平成30年9月26日(火) 公立置賜総合病院 検査スタッフ室
 - ・山臨技検査展について 10月6日(土)米沢市営体育館
 - ・臨床検査技師連盟の加入について
 - ・置賜地区主催研修会について
 - ・その他
- 3) 第3回置賜地区役員会 平成31年2月16日日(土) 赤湯温泉 むつみ荘・会議室
 - ・平成30年度 置賜地区主催冬期研修会の役割分担
 - ・平成31年度 置賜地区主催春期研修会について
 - ・置賜地区退職者壮行会について
 - ・その他

2. 地区研修会

1) 平成30年度 置賜地区春期主催研修会

日時：平成30年5月19日

場所：赤湯温泉 むつみ荘

内容：講演 「医療法改正&診療報酬改定に伴う検査の役割変化」

シスメックス株式会社 東日本営業本部

トータルソリューション課 佐藤 寛之 氏

第38回山形医学検査学会受賞者レビュー

新会員挨拶

退職者壮行会

2) 平成30年度 置賜地区主催冬期研修会

日時：平成31年2月16日(土) 15:20~

場所：赤湯温泉 むつみ荘

内容：講演 「共有基準範囲について」

協和メデックス株式会社

CR推進部 学術グループ マネジャー 近藤 大

第39回山形県医学検査学会演題レビュー

3. 一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

1) 山臨技検査展

日時：10月6日(土)

場所：米沢市営体育館 生涯学習フェスティバル会場

平成30年度会計決算報告

(収入の部)

1. 会費収入

会員会費：平成30年度に入金した会員数は630名、4,410,000円であった。

賛助会員会費：45社、900,000円であった。

2. 入会金収入

入会金：平成30年度に入金した会員数は27名、27,000円であった。

賛助会員：2名、2,000円であった。

3. 事業収入

広告料：会誌広告11社で295,000円、学会広告料690,000円であった。

会場整理費：893,500円であった。

部門研修会参加費193,000円、地区研修会参加費75,500円、県学会参加費472,000円、認知症対応力講習会B参加費51,000円、多職種研修会受講料102,000円であった。

精度管理事業費：精度管理参加費266,000円であった。

助成金：1,161,500円であった。

日臨技より1,161,500円（生涯教育推進研修会助成金661,500円、全国「検査と健康展」への助成金500,000円）であった。

4. 寄付金収入

寄付金はなかった。

5. 雑収入

預金利子：13円であった。

雑収入：各種研修会垂幕作成収入26,500円、日臨技議決権行使書回収委託費30,310円、生活習慣病等従事者講習会（一般）事務費について医師会より振込み625円であった。

6. 前期繰越収支差額

平成29年度の繰越金は1,116,886円であった。

平成30年度の収入は1～5までの合計8,702,448円に繰越金を加え、9,819,334円となった。

(支出の部)

1. 事業費

1) 衛生思想の普及及び啓発

(1) 衛生思想普及啓発事業費：3地区合わせて221,985円で、村山地区66,091円、庄内最上地区39,595円、置賜地区116,299円であった。

2) 臨床検査技術を通じ、保健事業、健康維持・増進事業への協力

(1) 地域保健事業費：906,383円で主な経費は臨床検査展と職能向上研修会開催費用、認知症対応力講習会B開催費用、学生ガイダンス事業費用である。

3) 臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析

(1) 精度管理事業費：818,384 円で主な経費は精度管理試料代と郵送費、報告会経費である。

(2) データ標準化事業費：日臨技データ標準化事業基幹施設への助成金である。

4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動

(1) 学術研究事業費：1,906,409 円で主な経費は部門、分野の研修活動費と学会費である。

(2) 生涯教育研修事業費：支出はなかった。

5) 機関誌及び会報の発行

(1) 会誌事業費：1,632,391 円で、山形医学検査の印刷費、編集委員会費用である。

6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ事業費：19,880 円で主な経費は PC に関わる事務材料費や HP パーツである。

2. 管理費

管理費は 2,392,183 円を支出した。

給与手当費：事務員賃金である。

福利厚生費：支出はなかった。

会議費：主な経費は三役会議、日臨技、北日本支部幹事会の会議関連費である。

通信費：郵送代やネット使用料である。

印刷費：主な経費は総会議案書印刷費、技師会封筒印刷費である。

交通費：主な経費は理事会交通費である。

顕彰費：県技師会表彰経費、叙勲経費である。

広告宣伝費：新聞等による広告費である。

消耗品費：事務消耗品費である。

事務費：登記手続き費用である。

支払手数料：振込等に関わる手数料である。

雑費：会費返金、町内会費等を支出した。

予備費：支出はなかった。

以上により支出は 7,897,615 円となった。

当期収支差額は 804,833 円となった。

昨年度の繰越金は 1,116,886 円であったため、次年度への繰越金は 1,921,719 円となる。

平成30年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会収支計算書

収入額 9,819,334 円 自 平成30年4月 1日
 支出額 7,897,615 円 至 平成31年3月31日
 差引額 1,921,719 円

収入 (単位:円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備考 |
|------------|-----------|-----------|-----------|---------------------|
| 1.会費収入 | 5,260,000 | 5,310,000 | 50,000 | |
| 会員 | 4,340,000 | 4,410,000 | 70,000 | 630名×7,000円 |
| 賛助会員 | 920,000 | 900,000 | △ 20,000 | 45社×20,000円 |
| 2.入会金収入 | 15,000 | 29,000 | 14,000 | |
| 会員 | 15,000 | 27,000 | 12,000 | 27名×1,000円 |
| 賛助会員 | 0 | 2,000 | 2,000 | 2社×1,000円 |
| 3.事業収入 | 3,410,000 | 3,306,000 | △ 104,000 | |
| 広告料 | 850,000 | 985,000 | 135,000 | 会誌広告料、県学会広告料 |
| 会場整理費 | 1,100,000 | 893,500 | △ 206,500 | 学会・研修会参加費など |
| 精度管理事業費 | 260,000 | 266,000 | 6,000 | 精度管理参加費 |
| 日臨技助成金 | 1,200,000 | 1,161,500 | △ 38,500 | 日臨技 |
| 4.寄付金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 5.雑収入 | 50 | 57,448 | 57,398 | |
| 預金利子 | 50 | 13 | △ 37 | |
| 雑収入 | 0 | 57,435 | 57,435 | 日臨技議決権行使書委託費、垂幕印刷費等 |
| 当期収入合計 | 8,685,050 | 8,702,448 | 17,398 | |
| 6.前期繰越収入差額 | 1,116,886 | 1,116,886 | 0 | |
| 前期繰越収入差額 | 1,116,886 | 1,116,886 | 0 | |
| 収入合計 | 9,801,936 | 9,819,334 | 17,398 | |

支出 (単位:円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備考 |
|------------------------------|-----------|-----------|-------------|---------|
| 1.事業費 | 7,092,000 | 5,505,432 | △ 1,586,568 | |
| 1)衛生思想の普及及び啓発 | | | | |
| (1)衛生思想普及啓発事業費 | 300,000 | 221,985 | △ 78,015 | |
| 会議費 | 30,000 | 39,327 | 9,327 | |
| 活動費 | 270,000 | 182,658 | △ 87,342 | 地区運営費 |
| 事務費 | 10,000 | 22,480 | 12,480 | |
| 交通費 | 80,000 | 62,680 | △ 17,320 | |
| 通信費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 130,000 | 88,218 | △ 41,782 | |
| 賃借料 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | |
| 諸謝金 | 30,000 | 9,280 | △ 20,720 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への | | | | |
| (1)地域保健事業費 | 1,197,000 | 906,383 | △ 290,617 | |
| 会議費 | 5,000 | 0 | △ 5,000 | |
| 活動費 | 410,000 | 318,788 | △ 91,212 | |
| 事務費 | 80,000 | 768 | △ 79,232 | |
| 交通費 | 40,000 | 86,945 | 46,945 | |
| 通信費 | 10,000 | 4,171 | △ 5,829 | |
| 材料費 | 100,000 | 46,538 | △ 53,462 | |
| 研修費 | 0 | 10,162 | 10,162 | |
| 賃借料 | 140,000 | 150,204 | 10,204 | |
| 諸謝金 | 40,000 | 20,000 | △ 20,000 | |
| 職能向上事業費 | 420,000 | 394,035 | △ 25,965 | |
| 認知症講習会事業 | 100,000 | 94,942 | △ 5,058 | |
| 学生ガイダンス事業 | 150,000 | 74,492 | △ 75,508 | |
| リーダー育成研修会 | 50,000 | 0 | △ 50,000 | |
| 負担費 | 30,000 | 20,000 | △ 10,000 | 関連団体協賛費 |
| 印刷費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | |
| 雑費 | 2,000 | 4,126 | 2,126 | |
| 3)臨床検査の精度管理に関する | | | | |
| (1)精度管理事業費 | 783,000 | 818,384 | 35,384 | |
| 会議費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | |
| 活動費 | 770,000 | 816,872 | 46,872 | |
| 事務費 | 40,000 | 36,000 | △ 4,000 | |

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備考 |
|----------------|-----------|-----------|-------------|------------------|
| 交通費 | 30,000 | 17,160 | △ 12,840 | |
| 通信費 | 100,000 | 127,476 | 27,476 | |
| 材料費 | 530,000 | 477,975 | △ 52,025 | サーベイ試料 |
| 研修費 | 70,000 | 78,261 | 8,261 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 80,000 | 80,000 | 基幹病院へ |
| 印刷費 | 3,000 | 0 | △ 3,000 | |
| 雑費 | 0 | 1,512 | 1,512 | |
| 4)臨床検査に関する学術研 | | | | |
| (1)学術研究事業費 | 3,070,000 | 1,906,409 | △ 1,163,591 | |
| 会議費 | 120,000 | 73,039 | △ 46,961 | 学術部部門分野長会議 |
| 活動費 | 1,720,000 | 839,476 | △ 880,524 | 部門分野活動費 |
| 事務費 | 80,000 | 6,745 | △ 73,255 | |
| 交通費 | 410,000 | 386,530 | △ 23,470 | |
| 通信費 | 50,000 | 4,989 | △ 45,011 | |
| 材料費 | 100,000 | 0 | △ 100,000 | |
| 研修費 | 500,000 | 207,339 | △ 292,661 | |
| 賃借料 | 150,000 | 0 | △ 150,000 | |
| 諸謝金 | 430,000 | 233,873 | △ 196,127 | |
| 学会費 | 1,200,000 | 958,175 | △ 241,825 | 県学会 |
| 印刷費 | 30,000 | 35,719 | 5,719 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| (2)生涯教育研修事業費 | 2,000 | 0 | △ 2,000 | |
| 会議費 | | 0 | 0 | |
| 活動費 | 2,000 | 0 | △ 2,000 | |
| 事務費 | 0 | 0 | 0 | |
| 交通費 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 2,000 | 0 | △ 2,000 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 5)機関誌及び会報の発行 | | | | |
| (1)会誌事業費 | 1,720,000 | 1,632,391 | △ 87,609 | |
| 会議費 | 5,000 | 4,975 | △ 25 | |
| 活動費 | 15,000 | 13,896 | △ 1,104 | |
| 事務費 | 5,000 | 9,000 | 4,000 | 査読料 |
| 交通費 | 7,000 | 0 | △ 7,000 | |
| 通信費 | 3,000 | 4,896 | 1,896 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 1,700,000 | 1,613,520 | △ 86,480 | 山形医学検査 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 6)その他本会の目的を達成す | | | | |
| (1)ホームページ事業費 | 20,000 | 19,880 | △ 120 | |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | |
| 活動費 | 20,000 | 1,630 | △ 18,370 | |
| 事務費 | 20,000 | 1,630 | △ 18,370 | PC関連 |
| 交通費 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 0 | 0 | 0 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 18,250 | 18,250 | HPパーツ |
| 2.管理費 | 2,530,000 | 2,392,183 | △ 137,817 | |
| 給与手当 | 650,000 | 628,100 | △ 21,900 | 事務員給与 |
| 福利厚生費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | |
| 会議費 | 300,000 | 200,434 | △ 99,566 | 三役会議、日臨技、理事会、総会費 |
| 通信費 | 300,000 | 311,424 | 11,424 | 切手、郵送費、ネット使用料 |

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備考 |
|-----------------|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 災害システム構築費 | 100,000 | 0 | △ 100,000 | |
| 業務委託費 | 200,000 | 0 | △ 200,000 | |
| 印刷費 | 100,000 | 193,620 | 93,620 | 総会議案書等,封筒印刷 |
| 交通費 | 570,000 | 664,140 | 94,140 | 理事会交通費他 |
| 顕彰費 | 150,000 | 181,809 | 31,809 | 功労賞、叙勲祝い金 |
| 広告宣伝費 | 70,000 | 64,800 | △ 5,200 | 新聞広告掲載 |
| 消耗品費 | 35,000 | 89,180 | 54,180 | 事務消耗品等 |
| 事務費 | 10,000 | 13,254 | 3,254 | 登記 |
| 支払手数料 | 10,000 | 5,940 | △ 4,060 | |
| 雑費 | 5,000 | 39,482 | 34,482 | 町内会費、入会金返金等 |
| 3.事務所維持、取得積立金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 4.備品購入積立支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 5.予備費 | 179,936 | 0 | △ 179,936 | |
| 予備費 | 179,936 | 0 | △ 179,936 | |
| 当期支出合計 | 9,801,936 | 7,897,615 | △ 1,904,321 | |
| 当期収支差額 | 0 | 804,833 | 804,833 | |
| 支出合計 | 9,801,936 | 7,897,615 | △ 1,904,321 | |

一般会計正味財産増減計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで (単位:円)

| 科目 | 金額 | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| I. 増加の部 | | | |
| 1. 資産増加額 | 1,921,719 | | |
| 2. 負債減少額 | 0 | | |
| 増加額合計 | | 1,921,719 | |
| II. 減少の部 | | | |
| 1. 資産減少額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | 0 | |
| 2. 負債増加額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | 0 | |
| 当期正味財産増加額 | | | 1,921,719 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 0 |
| 期末正味財産合計額 | | | 1,921,719 |

一般会計貸借対照表 平成31年3月31日現在 (単位:円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 6,278,760 | | |
| 流動資産合計 | | 6,278,760 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | | | |
| 什器備品 | 0 | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 無形固定資産合計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 6,308,760 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 流動負債合計 | | 4,387,041 | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | | |
| 負債合計 | | 4,387,041 | |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | 1,921,719 | |
| 負債及び正味財産合計 | | | 1,921,719 |

一般会計財産目録 平成31年3月31日現在 (単位:円)

| 科目 | 金額 | | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 10,613 | | |
| 銀行預金 | 6,167,106 | | |
| 郵便振替口座 | 398 | | |
| 流動資産合計 | | 6,178,117 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | | | |
| 什器備品 | 0 | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 無形固定資産合計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 6,178,117 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 前受金(山臨技会費・入会金、広告料) | 4,256,398 | | |
| 負債合計 | | 4,256,398 | |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | 1,921,719 | |
| 負債及び正味財産合計 | | | 1,921,719 |

第39回山形県医学検査学会 決算（最終報告）

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|--------------|-----------|-----------------|
| 1. 学会参加費 | 472,000 | |
| 一般会員 | 358,000 | 2,000円×179名 |
| 非会員 | 14,000 | 7000円×2名 |
| 賛助会員 | 100,000 | 2,000円×50名 |
| 2. 広告費 | 690,000 | |
| 会場使用料 | 600,000 | 60,000円×10社 |
| 展示料 | 90,000 | 10,000円×9社 |
| 3. 情報交換会・宿泊費 | 1,597,000 | |
| 情報交換会のみ(一般) | 90,000 | 9,000円×10名 |
| 情報交換会のみ(賛助) | 306,000 | 9000円×34名 |
| 宿泊(一般会員) | 1,144,000 | 13,000円×88名 |
| 二次会費 | 57,000 | 1,000円×57名 |
| 4. 総括会議参加費 | 60,000 | 5,000円×12名 |
| 5. 雑収入 | 1,000 | 1000円×1冊 抄録集販売代 |
| 合 計 | 2,820,000 | |

支出の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|--------|-----------|---|
| 1. 事業費 | 2,615,175 | |
| 会議費 | 4,000 | 総括会議費 |
| 事務費 | 23,257 | SDカード、図書カード(1,000円×14名)等 |
| 交通費 | 145,855 | 実行委員会交通費等 |
| 通信費 | 328 | 切手代 |
| 研修費 | 2,228,617 | ランチョンセミナー弁当代:396,000円(1200円×330個) 情報交換会・宿泊費:1,540,000円 アトラクション表彰等:30,000円 |
| 賃借料 | 99,100 | 会場費 |
| 諸謝金 | 66,822 | 講師謝礼 |
| 顕彰費 | 21,596 | 学会学術賞1名、学会若人奨励賞1名、額縁 |
| 印刷費 | 2,451 | 参加証印刷 |
| 雑費・予備費 | 23,149 | 手数料、PC用ケーブル等 |
| 合計 | 2,615,175 | |

| | |
|-----|------------|
| 収入額 | 2,820,000円 |
| 支出額 | 2,615,175円 |
| 差引額 | 204,825円 |

平成30年度特別会計決算報告

1. 事務所取得費、維持費の収入は預金利子である。支出は家賃、電気、水道等の事務所経費である。
2. 北日本支部学会山形県開催準備費は担当者へ支出した。
3. 備品購入積立金の収入は預金利子である。支出はない。

特別会計収支計算書

事務所取得費、維持費収支計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----------------|------------|------------|---------|---------|
| I. 収入の部 | | | | |
| 繰入金収入 | 0 | 0 | 0 | 一般会計繰入金 |
| 雑収入 | 0 | 13 | 13 | 預金利子 |
| 当期収入合計(A) | 0 | 13 | 13 | |
| 前期繰越収支差額 | 20,663,993 | 20,663,993 | 0 | |
| 収入合計(B) | 20,663,993 | 20,664,006 | 13 | |
| II. 支出の部 | | | | |
| 事務所維持支出 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |
| 当期支出合計(C) | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |
| 当期支出差額(A)-(C) | △1,122,000 | △1,183,295 | △61,295 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 19,541,993 | 19,480,698 | △61,295 | |

北日本支部学会山形県開催準備費収支計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----------------|-----------|------------|------------|------|
| I. 収入の部 | | | | |
| 繰入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 85 | 85 | 預金利子 |
| 当期収入合計(A) | 0 | 85 | 85 | |
| 前期繰越収支差額 | 5,141,411 | 5,141,411 | 0 | |
| 収入合計(B) | 5,141,411 | 5,141,496 | 85 | |
| II. 支出の部 | | | | |
| 北日本学会準備支出 | 0 | 5,141,496 | 5,141,496 | |
| 当期支出合計(C) | 0 | 5,141,496 | 5,141,496 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | 0 | △5,141,411 | △5,141,411 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 5,141,411 | 0 | -5,141,411 | |

備品購入積立会計(パソコン・ワープロ等購入積立会計)収支計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----------------|---------|---------|----|------|
| I. 収入の部 | | | | |
| 繰入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 4 | 4 | 預金利子 |
| 当期収入合計(A) | 0 | 4 | 4 | |
| 前期繰越収支差額 | 434,099 | 434,099 | 0 | |
| 収入合計(B) | 434,099 | 434,103 | 4 | |
| II. 支出の部 | | | | |
| 備品購入支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期支出合計(C) | 0 | 0 | 0 | |
| 当期支出差額(A)-(C) | 0 | 4 | 4 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 434,099 | 434,103 | 4 | |

平成30年度事務所維持特別会計収支計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収 入 (単位：円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|--------|----------|
| 事務所維持管理費 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |
| 管理費 | | | | |
| 維持費 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | 事務所維持費より |
| 収 入 合 計 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |

支 出 (単位：円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 30年度決算額 | 増 減 | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|---------|--------------|
| 事務所維持管理費 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |
| 事務費 | 84,000 | 127,644 | 43,644 | |
| コピー印刷費 | 84,000 | 127,644 | 43,644 | 7,000円×12ヶ月 |
| 光熱費 | 78,000 | 88,281 | 10,281 | |
| 水道 | 30,000 | 23,863 | △ 6,137 | 2,500円×12ヶ月 |
| 電気 | 48,000 | 64,418 | 16,418 | 4,000円×12ヶ月 |
| 賃借料 | 960,000 | 960,000 | 0 | |
| 事務所家賃 | 960,000 | 960,000 | 0 | 80,000円×12ヶ月 |
| 事務所備品購入費 | 0 | 334,800 | 334,800 | |
| | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 432 | 432 | |
| 雑費 | 0 | 432 | 432 | 振込手数料等 |
| 支 出 合 計 | 1,122,000 | 1,183,308 | 61,308 | |

事務所取得費、維持費正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| I. 増加の部 | | | |
| 1. 資産増加額 | 13 | | |
| 2. 負債減少額 | 0 | | |
| 増加額合計 | | 13 | |
| II. 減少の部 | | | |
| 1. 資産減少額 | 1,183,308 | | |
| 2. 負債増加額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | 1,183,308 | |
| 当期正味財産減少額 | | | 1,183,295 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 2,263,671 |
| 期末正味財産合計額 | | | 1,080,376 |

事務所取得費、維持費貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|------------|--|------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 19,481,745 | | |
| 流動資産合計 | 19,481,745 | | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | | | |
| 有形固定資産合計 | 0 | | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 無形固定資産合計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | 0 | | |
| 資産合計 | | | 19,481,745 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | | |
| 負債合計 | | | 0 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | |
| 負債および正味財産合計 | | | 19,481,745 |

事務所取得費、維持費財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 銀行預金 | | | |
| 定期預金 | 8,099,624 | | |
| 労金 | 10,301,745 | | |
| ゆうちょ | | | |
| 普通預金 | 1,080,376 | | |
| きらやか | | | |
| 流動資産合計 | | 19,481,745 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | | | |
| 有形固定資産合計 | 0 | | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 無形固定資産合計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 19,481,745 |
| II. 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 0 | | |
| 負債合計 | 0 | | 0 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | 19,481,745 |

北日本支部学会山形県開催準備費正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-----------|----|----|-----------|
| I. 増加の部 | | | |
| 1. 資産増加額 | 85 | | |
| 2. 負債減少額 | 0 | | |
| 増加額合計 | | 85 | |
| II. 減少の部 | | | |
| 1. 資産減少額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | | |
| 2. 負債増加額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | 0 | |
| 当期正味財産減少額 | | | 85 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 5,141,411 |
| 期末正味財産合計額 | | | 5,141,496 |

北日本支部学会山形県開催準備費貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|----|---|---|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 0 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 0 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2. 固定負債 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | |
| 負債及び正味財産合計 | | | 0 |

北日本支部学会山形県開催準備費財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|---------------|----|---|---|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 銀行預金 庄内銀行定期預金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 0 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | 0 | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 0 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2. 固定負債 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| 正味財産 | | | 0 |

備品購入積立会計正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-----------|----|---|---------|
| I. 増加の部 | | | |
| 1. 資産増加額 | 4 | | |
| 2. 負債減少額 | 0 | | |
| 増加額合計 | | 4 | |
| II. 減少の部 | | | |
| 1. 資産減少額 | 0 | | |
| 2. 負債増加額 | 0 | | |
| 減少額合計 | | 0 | |
| 当期正味財産減少額 | | | 4 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 434,099 |
| 期末正味財産合計額 | | | 434,103 |

備品購入積立会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 434,103 | | |
| 流動資産合計 | | 434,103 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | 0 | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 434,103 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2. 固定負債 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | |
| 負債及び正味財産合計 | | | 434,103 |

備品購入積立会計財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 銀行預金 きらやか銀行 | 434,103 | | |
| 流動資産合計 | | 434,103 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 1) 有形固定資産 | 0 | | |
| 有形固定資産合計 | | 0 | |
| 2) 無形固定資産 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 434,103 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2. 固定負債 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| 正味財産 | | | 434,103 |

平成 30 年度備品台帳内訳明細書

| 機 器 | メーカー | 規 格 | 数 量 | 保管場所 | 購入年度 | 購入価格 | 耐用年数 | 償却方法 | H30 償却費 | H30 期末残高 | 備 考 |
|-------------|--------|--------------|-----|--------|----------|-----------|------|------|---------|----------|-------|
| 留守番電話 | パナソニック | SVAS2S | 1 | 事務所 | 平成 15 年 | 16,590 | 6 | 旧定額法 | 766 | 1 | - |
| ノートPC | Dell | Inspiron1300 | 1 | 事務所 | 平成 18 年 | 132,095 | 4 | 旧定額法 | 6,604 | 1 | - |
| ノートPC | Dell | Vostro1500 | 1 | 事務所 | 平成 19 年 | 144,895 | 4 | 旧定額法 | 0 | 1 | - |
| プロジェクター | EPSON | EMP1705 | 1 | 事務所 | 平成 19 年 | 188,000 | 5 | 旧定額法 | 1,879 | 1 | 均等償却- |
| ノートPC | Dell | Inspiron1520 | 1 | 事務所 | 平成 20 年 | 93,590 | 4 | 定率法 | 0 | 1 | - |
| ノートPC | Dell | Inspiron1520 | 1 | 事務所 | 平成 20 年 | 93,590 | 4 | 定率法 | 0 | 1 | - |
| プロジェクター | EPSON | EMP1705 | 1 | 事務所 | 平成 20 年 | 188,000 | 5 | 定率法 | 0 | 1 | - |
| A1 サイズプリンター | EPSON | SC-T3250 | 1 | 事務所 | 平成 29.10 | 208,980 | 5 | 定額法 | 41,796 | 146,286 | |
| エアコン | 三菱 | MSZ-HXV71179 | 1 | 事務所 | 平成 30.1 | 334,800 | 6 | 定額法 | 55,800 | 265,022 | 新規取得 |
| ノート PC | mouse | m-BookB504H | 1 | HP 委員会 | 平成 30.2 | 148,392 | 4 | 定額法 | 37,098 | 105,111 | 新規取得 |
| 合 計 | | | | | | 1,548,932 | | | 134,694 | 516,419 | |

平成 30 年度監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

代表理事 居鶴 一彦 殿

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告については、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 31 年 4 月 25 日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 武田 和子 

監事 阿部 光展 

監事 阿部 亜希子 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会
代表理事 居鶴 一彦 殿

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

平成 31 年 4 月 25 日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 武田 和子 

監事 阿部 光展 

監事 阿部 亜希子 

第1号議案

令和元年度事業計画（案）

社会情勢、医療情勢の変化に伴い臨床検査分野を取り巻く環境も大きく変わり、臨床検査技師の業務のあり方について、多様なニーズに対応できる人材育成と業務体制を検討することが急務です。

山形県臨床検査技師会（山臨技）では引き続き、職能団体として学術活動を主体として、各部門研修会、精度管理事業などを継続的に行います。今年度は北日本支部医学検査学会（第8回）が山臨技担当で山形テルサ・霞城セントラルを会場に開催されます。日臨技からの開催依頼として、「学生フォーラム」、「中高生進路支援ガイダンス」、「教育制度の改革と臨床実習のあり方」があります。昨年度より引き続き、企画、運営を十分検討し、学会が成功裏に終了するように努めます。

日臨技・都道府県技師会共同事業の「多職種連携のための能力開発講習会」は、「ベツトサイド実践講習会」と名称を変更して継続いたします。また、「都道府県技師会リーダー育成研修会」は各都道府県技師会の底上げのためのリーダー研修会であり、参加をし研修内容の還元を図ります。

臨床検査技師と医療をめぐる情勢は重要であり、「臨床検査の質の向上」及び「法改正」の実現を図り、国民の医療、福祉に寄与することを目的とした日本臨床検査技師連盟への加入啓蒙を日本臨床検査技師連盟とともに行っていきます。

その他、各部・各委員会の事業計画詳細（案）については後掲いたします。

庶務部

1. 技師会事業の円滑な遂行
 - 1) 他部門や各委員会と協力し、理事会・定期総会・学会の準備などを行う。
2. 技師会諸帳簿管理
 - 1) 各議事録や諸帳簿の管理を行う。
3. 一般社団法人としての管理
 - 1) 県と法務局に提出する必要書類の作成を行う。
4. 情報公開についての整備
 - 1) 山臨技ニュース等の情報の発信やホームページを利用した求人・求職などの情報提供を引き続き行う。
 - 2) 日臨技情報の発信を行う。
 - 3) 連盟情報の発信を行う。
5. 情報網の整備と充実
 - 1) 山臨技におけるメーリングリストの更なる充実と連絡網の整備を行う。
6. 事務所取得に係わる情報収集

会計部

1. 法人会計の整備
 - 1) 法人会計として複式簿記による帳簿整理を行い、明確な会計処理をする。
2. 円滑な会計処理
 - 1) 各事業部、委員会、学術研究部門、事務所と連絡を取り合い、事業を円滑に進められるように努める。

学術部

- 1) 部門長・分野長合同会議の開催
部門長・分野長合同会議を開催し、学術部各部門への予算配分、研修会の要件、精度管理、生涯教育研修制度、山形医学検査、及び公益事業協力等について討議検討する。
部門長・分野長合同会議を5月11日（土）開催予定
- 2) 北日本支部医学検査学会（第8回）への取り組み
今年度、北日本支部医学検査学会が山形市を会場に開催予定であるため、学会運営部と連携し協力しながら種々の業務に取り組む。
- 3) 各部門・分野及び各委員会への事業支援
部門長・分野長と連携し、会員の皆様が参加しやすい研修会の開催を目指す。日臨技認定制度の認定更新指定研修会の登録申請も随時行う。
精度管理委員会・データ標準化委員会に協力する。
「山形医学検査」発行へ協力する。

4) 学術部主催研修会の開催

学術部主催の研修会を企画し、技師同士の交流の場を提供し、仲間づくり、組織強化を目指す。

6) 共催および後援への協力

メーカーや他団体が主催する研修会において、共催および後援に対しては内容を吟味し理事会の承認を得たうえで協力する。

企 画 部

1. 全国「検査と健康展」の開催

11月9日(土)天童市(予定)

2. 日臨技・山形県臨床検査技師会主催

ベッドサイド実践講習会

日時：会場 未定

平成30年度に開催した医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会(多職種)を今年度は「ベットサイド実践講習会」と名称を変更して継続いたします。

「山形医学検査」編集委員会

1. 編集委員会の開催

企画、編集作業など、年3回程度開催する。

2. 「山形医学検査」の発行

「山形医学検査」を年3回発行する。

学術機関紙としての役割を重視し、研究論文を多く掲載する。

3. 「山形医学検査」の発行予定

Vol.28 No.2 2019年8月(会員名簿との合冊)

Vol.28 No.3 2019年10月

(精度管理報告書との合冊)

Vol.29 No.1 2020年2月

4. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行う。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事のJAMTISへの行事登録並びに参加登録を行う。

2. 日臨技推進研修会の申請並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行う。

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

JAMTQC を可能な限り利用してコントロール・サーベイを実施する。コントロール・サーベイを通し、県内各施設または会員一人一人の高いレベルでの標準化に寄与する。日臨技サーベイで C または D 評価判定となった施設に対して山臨技として是正講習会の開催が可能か否か委員会ならびに学術部で議論する。

| | |
|-----------|--|
| 2019年4月下旬 | コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り |
| 7月中旬 | サーベイ試料・フォトサーベイ CD 発送 |
| 7月中旬から8月 | サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間は例年同様入力期日を厳正に設定する) |
| 8月から9月 | サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む) |
| 10月から11月 | 精度管理報告書発刊 |
| 10月から11月 | 施設別報告書開示 |
| 11月中旬 | 第1回精度管理委員会 |
| 12月8日(日) | 精度管理報告会 会場：山形県立中央病院講堂 |
| 2020年3月上旬 | 2020年度JAMTQC使用申請 |
| 2020年3月下旬 | 2020年度コントロール・サーベイ参加申し込み発送 |

2. データ標準化事業

精度保証施設認証を新規申請する施設の拡大に努める。

平成30年度に実施したアンケート集計結果を基に共用基準範囲の採用施設拡大に努める。

ホームページ委員会

1. 会員の方々に情報源として活用され、利用しやすいホームページ制作を行う。
2. 各部門、各団体と連携しホームページによる情報発信を行う。
3. 臨床検査技師の地位向上に役立つように外部情報発信を行う。
4. 災害時の非常連絡網としてのあり方を引き続き検討する。

第2号議案

令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案）

（収入の部）

1. 会費収入

会員会費：620名で計算した。

賛助会員会費：45社で計算した。

2. 入会金収入

入会金：昨年並みとした。

3. 事業収入

広告料：昨年の会誌広告料をもとに算出した。

会場整理費：過去数年分の決算を参考にした。

精度管理事業費：昨年並みとした。

助成金：令和元年度日臨技助成金（通知）をもとに算出した。

4. 寄付金収入

見込まない。

5. 雑収入

預金利子：平年並みとした。

（支出の部）

1. 事業費

各部・委員会の事業計画と過去数年分の決算を参考に、予算の範囲内での割り振りを行った。

「職能向上のための臨床検査技師育成講習会」は「ベッドサイド実践講習会」に名称変更となった。

2. 管理費

平成30年度決算を参考にした。

3. 予備費

事業費・管理費が不足した時、また、その他必要時に用いる。

令和元年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会 予算(案)

収入額 9,536,769 円 自 平成31年4月 1日
 支出額 9,536,769 円 至 令和 2年3月31日
 差引額 0 円

収入 (単位:円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 元年度予算額 | 増 減 | 備考 |
|------------|-----------|-----------|-------------|----------------|
| 1.会費収入 | 5,260,000 | 5,240,000 | △ 20,000 | |
| 会員 | 4,340,000 | 4,340,000 | 0 | 620名×7,000円 |
| 賛助会員 | 920,000 | 900,000 | △ 20,000 | 45口×20,000円 |
| 2.入会金収入 | 15,000 | 15,000 | 0 | |
| 会員 | 15,000 | 15,000 | 0 | 15名×1,000円 |
| 賛助会員 | 0 | 0 | 0 | |
| 3.事業収入 | 3,410,000 | 2,360,000 | △ 1,050,000 | |
| 広告料 | 850,000 | 300,000 | △ 550,000 | 会誌広告料 |
| 会場整理費 | 1,100,000 | 600,000 | △ 500,000 | 学会・研修会参加費など |
| 精度管理事業費 | 260,000 | 260,000 | 0 | 精度管理参加費 |
| 助成金 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | 公益目的事業、生涯教育助成金 |
| 4.寄付金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 5.雑収入 | 50 | 50 | 0 | |
| 預金利子 | 50 | 50 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 6.前期繰越収入差額 | 1,279,417 | 1,921,719 | 642,302 | |
| 前期繰越収入差額 | 1,279,417 | 1,921,719 | 642,302 | |
| 収入合計 | 9,964,467 | 9,536,769 | △ 427,698 | |

支出 (単位:円)

| 科 目 | 30年度予算額 | 元年度予算額 | 増 減 | 備考 |
|--------------------------------|-----------|-----------|-------------|---------|
| 1.事業費 | 6,992,000 | 5,752,000 | △ 1,240,000 | |
| 1)衛生思想の普及及び啓発 | | | | |
| (1)衛生思想普及啓発事業費 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 会議費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 活動費 | 270,000 | 270,000 | 0 | 地区運営費 |
| 事務費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 交通費 | 80,000 | 80,000 | 0 | |
| 通信費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 130,000 | 130,000 | 0 | |
| 賃借料 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 諸謝金 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力 | | | | |
| (1)地域保健事業費 | 1,097,000 | 1,047,000 | △ 50,000 | |
| 会議費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 活動費 | 410,000 | 410,000 | 0 | 臨床検査展 |
| 事務費 | 80,000 | 40,000 | △ 40,000 | |
| 交通費 | 40,000 | 80,000 | 40,000 | |
| 通信費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 材料費 | 100,000 | 90,000 | △ 10,000 | |
| 研修費 | 0 | 10,000 | 10,000 | |
| 賃借料 | 140,000 | 140,000 | 0 | |
| 諸謝金 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| ベッドサイド実践講習会 | 420,000 | 420,000 | 0 | |
| 学生ガイダンス事業 | 150,000 | 100,000 | △ 50,000 | |
| リーダー研修会 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 負担費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 関連団体協賛費 |
| 印刷費 | 30,000 | 20,000 | △ 10,000 | |
| 雑費 | 2,000 | 12,000 | 10,000 | |
| 3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析 | | | | |
| (1)精度管理事業費 | 783,000 | 783,000 | 0 | |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 活動費 | 770,000 | 770,000 | 0 | |
| 事務費 | 60,000 | 40,000 | △ 20,000 | 図書カード |
| 交通費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 通信費 | 70,000 | 100,000 | 30,000 | |
| 材料費 | 540,000 | 530,000 | △ 10,000 | サーベイ試料 |
| 研修費 | 70,000 | 70,000 | 0 | 精度管理報告会 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 3,000 | 3,000 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |

| 科 目 | 30年度予算額 | 元年度予算額 | 増 減 | 備考 |
|-----------------------------|-----------|-----------|-------------|------------------|
| 4)臨床検査に関する学術研究、 研修及び広報活動 | | | | |
| (1)学術研究事業費 | 3,070,000 | 1,870,000 | △ 1,200,000 | |
| 会議費 | 120,000 | 120,000 | 0 | 学術部部門分野長会議 |
| 活動費 | 1,720,000 | 1,720,000 | 0 | 部門分野活動費 |
| 事務費 | 80,000 | 80,000 | 0 | |
| 交通費 | 410,000 | 410,000 | 0 | |
| 通信費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 材料費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 研修費 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 賃借料 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 諸謝金 | 430,000 | 430,000 | 0 | |
| 学会費 | 1,200,000 | 0 | △ 1,200,000 | 県学会 |
| 印刷費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| (2)生涯教育研修事業費 | 2,000 | 4,000 | 2,000 | |
| 会議費 | | 2,000 | 2,000 | |
| 活動費 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 事務費 | 0 | 0 | 0 | |
| 交通費 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 5)機関誌及び会報の発行 | | | | |
| (1)会誌事業費 | 1,720,000 | 1,725,000 | 5,000 | |
| 会議費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 活動費 | 15,000 | 20,000 | 5,000 | |
| 事務費 | 5,000 | 10,000 | 5,000 | 査読料 |
| 交通費 | 7,000 | 5,000 | △ 2,000 | |
| 通信費 | 3,000 | 5,000 | 2,000 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 1,700,000 | 1,700,000 | 0 | 山形医学検査 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 6)その他本会の目的を達成す るために必要な事業 | | | | |
| (1)ホームページ事業費 | 20,000 | 23,000 | 3,000 | |
| 会議費 | 0 | 3,000 | 3,000 | |
| 活動費 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 事務費 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 交通費 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 0 | 0 | 0 | |
| 材料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 研修費 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 2.管理費 | 2,480,000 | 2,660,000 | 180,000 | |
| 給与手当 | 600,000 | 600,000 | 0 | 事務員給与 |
| 福利厚生費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 慶弔費、保険料等 |
| 会議費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 三役会議、日臨技、東臨技、総会費 |
| 通信費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 切手、郵送費、ネット使用料 |
| 災害システム構築費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 業務委託費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 印刷費 | 100,000 | 200,000 | 100,000 | 技師会封筒、総会議案書等 |
| 交通費 | 570,000 | 650,000 | 80,000 | 理事会交通費他 |
| 顕彰費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞 |
| 広告宣伝費 | 70,000 | 70,000 | 0 | |
| 消耗品費 | 35,000 | 35,000 | 0 | |
| 事務費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 支払手数料 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 雑費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 3.事務所維持、取得積立金支出 | 0 | 980,000 | 980,000 | |
| 4.備品購入積立支出 | 0 | 50,000 | 50,000 | |
| 5.予備費 | 202,917 | 94,769 | △ 108,148 | |
| 予備費 | 202,917 | 94,936 | △ 107,981 | |
| 支出合計 | 9,674,917 | 9,536,769 | △ 138,148 | |

第3号議案

令和元年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案）

| | 名前 | 施設名 |
|----|-------|----------|
| 監事 | 小川 一弥 | 山形県立新庄病院 |

第4号議案

令和元・2年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員推薦委員改選(案)

| | 名前 | 施設名 |
|--|-------|--------------|
| | 松野 枝美 | 山形県立中央病院 |
| | 田中 穂積 | 北村山公立病院 |
| | 鈴木 靖政 | 山形済生病院 |
| | 亀井 誠 | 荘内地区健康管理センター |
| | 飛塚 潔 | 米沢市立病院 |

第5号議案

その他

特別講演

「 一隅を照らすは国の宝なり 」

宝珠山 立石寺 清原 正田 住職

司会：一般社団法人山形県臨床検査技師会

会長 居鶴 一彦

